

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022年 ニュース・イベントピックアップ(それぞれをクリックして詳細へ).....

- 1月26日 [オートメーションと計測の先端技術総合展「IIFES 2022 ONLINE」に出展:](#)
～2月25日まで開催「SL-GMS (C++, Java, .NET, HTML5) で、中央制御室から Web による遠隔監視, クラウド運用の監視ダッシュボードまで」
- 2月21日 [月刊「計装」2022年3月号で SL ジャパンの記事掲載:](#)
SL-GMS に関連した執筆記事 p.48-51 が掲載されました:
「監視制御システム系 GUI/HMI 開発ツールの進化と役割」
- 5月18日 [.NET 6 にいち早く対応した、監視制御システム \(DCS/SCADA\) 向け SL-GMS .NX/Developer と .NX/Custom Editor 新製品をリリース: \[右画面\]](#)
制御室から Web による遠隔監視, クラウド運用ダッシュボードまでの SL-GMS フルラインアップをさらに強化
- 7月22日 [.NET 6 版新製品発表記念 SL-GMS ライブ Web セミナ開催:](#)
HTML5 版 SL-GMS 新製品に続き .NET 6 にいち早く対応した .NX 新製品の発表に伴い、Web セミナを開催し、事例とデモを交えてご紹介しました:
「制御システムの可視化における開発・運用動向～中央制御室から、Web による遠隔監視, HTML5 でクラウド運用ダッシュボードまで」
- 8月2日 [RTView 新バージョン 7.4 をリリース、IoT データのリアルタイムなグラフィック可視化と監視ダッシュボードを対話的にカスタム構築: \[右画面\]](#)
Red Hat Enterprise Linux 9 と Java 17 をサポート追加、Log4J を 2.17.1 に更新および JQuery を 3.5.1 に更新でセキュリティ強化、ビルダーのデフォルトパレットを指定するコマンドラインオプション追加などに対応し、引き続き強化
- 9月5日 [SL-GMS J/Developer \(Java\) 新バージョン 4.6a をリリース、監視制御システムのコンテンツリッチな Java GUI をリモートデスクトップ Web アクセスで高速に運用:](#)
Java 17 を追加サポートした他、SL-GMSDraw エディタのバージョンを最新の SL-GMS C++/Developer V7.2a ベースに更新
- 10月4日 [SL-GMS Web/Developer 新バージョン 4.0a をリリース、高対話性でコンテンツリッチなグラフィック操作画面を比類なく高性能な HTML5 コードに変換: \[裏面に詳細\]](#)
オーバービュー小窓機能やプリンク機能など、従来の SL-GMS 製品 (C++, Java, .NET) による開発でよく実装される多彩なグラフィック機能を HTML5 版に追加し、制御システム (DCS/SCADA) の Web 運用化をさらに強化
- 10月12日 [HTML5 版の SL-GMS Web/Developer が、富士通Japanの施設総合管理クラウド「Futuric/CL」で採用: \[裏面に詳細\]](#)
.NET 版 SL-GMS で開発された従来のビル管理システム「Futuric/SX」シリーズのグラフィックな設備画面を、コンパクトで高速な HTML5 コードに変換してクラウド運用
- 10月12日 [未来のものづくり社会を支える計測と制御技術の総合展「計測展2022 OSAKA」のオンライン展示会「計測展 2022 Online+plus」に出展:](#)
～11月25日まで開催、同展示会のサイトでは SL ジャパンのブースが紹介されました。
「中央制御室から、Web による遠隔監視, HTML5 でクラウド運用ダッシュボードまで: GUI/HMI ツール」



月刊「計装」2022年3月号でSLジャパンの記事掲載



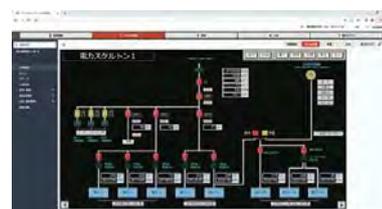
.NET 6 の Visual Studio 2022 を使って、SL-GMSDraw で作成したグラフィック画面のアプリケーションを開発する、SL-GMS .NX 新製品



RTView 新V7.4 のポイント&クリック操作のビルダー



SL-GMS Web/Developer 新バージョン 4.0a で追加された「オーバービュー小窓」と「プリンク」新機能



富士通Japan(株)様のSL-GMS事例より: HTML5に変換されたFuturic/CLの設備画面例

HTML5 版の SL-GMS Web/Developer が、富士通Japanの施設総合管理クラウド「Futuric/CL」で採用

.NET 版 SL-GMS で開発された従来のビル管理システム「Futuric/SX」シリーズのグラフィックな設備画面を、コンパクトで高速な HTML5 コードに変換してクラウド運用

2022年10月12日 ニュースリリースより:

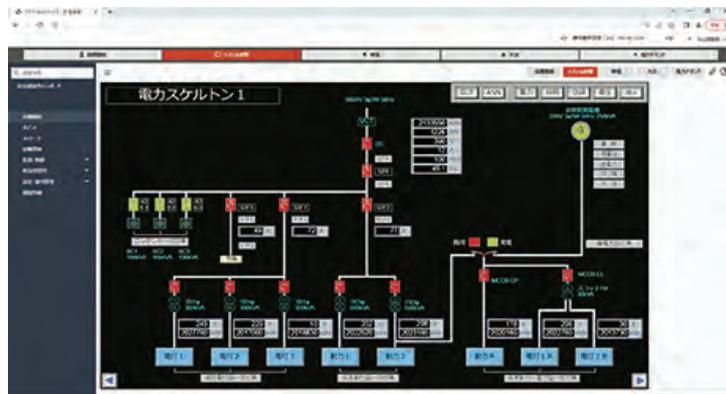
SL ジャパンは、HTML5 版の SL-GMS Web/Developer が、富士通Japan株式会社（以下、富士通Japan）のビル管理システム「FUJITSU Public Sector Solution Social Century Sustainable 施設総合管理クラウド Futuric/CL」（以下「Futuric/CL」）サービスで採用されたことを、発表しました。

「Futuric/CL」は、ビルや施設内に設置された設備の稼働状況やエネルギー使用量のデータをクラウドに蓄積し、インターネット上の統合建屋ダッシュボード画面で一元管理して遠隔で監視や制御が行える、富士通Japanのクラウドサービスです。

中小規模や複数のビル向けに、遠隔から無駄な空調や照明をコントロールする省エネおよび Web 画面からの操作によるビル管理業務の効率化を強力に支援します。

これまで、建物内の電力、空調、照明、防犯防災などの設備を統合監視するオンプレミス型の BA（ビルオートメーション）システムとして、庁舎や学校、病院、駅舎、企業などのさまざまな大・中規模ビル施設で稼働してきた「Futuric/SX」シリーズでは、.NET 版の SL-GMS を使ってその多彩なグラフィック操作画面が開発されてきました。そして今回、その同じ設備画面を新たに導入された SL-GMS Web/Developer によって高性能な HTML5 コードに変換し、「Futuric/CL」にクラウド運用展開されました。

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2022/sl_j_news_221012.shtml



(事例より) HTML5 に変換された「Futuric/CL」の設備画面例

制御システム (DCS/SCADA) の Web 化でさらに機能拡張した SL-GMS Web/Developer (HTML5) 新バージョン 4.0a をリリース

高対話性でコンテンツリッチなグラフィック操作画面を、比類なく高性能な HTML5 コードに変換

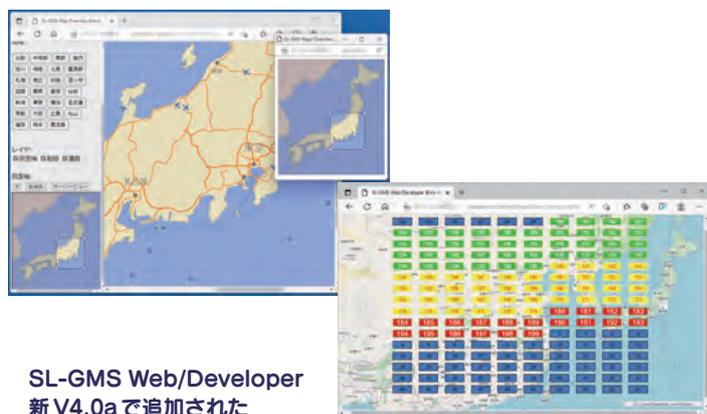
2022年10月4日 ニュースリリースより:

SL ジャパンは、高対話性でコンテンツリッチなグラフィック操作画面を比類なく高性能な HTML5 コードに変換して Web 運用できる、SL-GMS Web/Developer の新バージョン 4.0a をリリースしました。

2020 年秋に待望の HTML5 版 SL-GMS 新製品としてリリースされた V1.0a に続いて V2.0a と V3.0a では、JavaScript (HTML5) の組み込みグラフとテーブル、詳細画面へのドリルダウン、複数の画面レイヤ、連続ズームと矩形で領域選択ズーム、実行中に画面上のイメージを動的に置き換え、Leaflet 地図画面に動的グラフィックオブジェクトをインスタンスなどの機能を追加し、複数現場からの IoT データを集約して一元監視するダッシュボードの開発を支援強化しました。

そして今回の新バージョン 4.0a では、従来の SL-GMS 製品 (C++, Java, .NET) による開発でよく実装される多彩なグラフィック機能を HTML5 版に新機能として追加し、制御システム (DCS/SCADA) の Web 運用化をさらに強化しています:

- 「オーバービュー小窓機能」で広範なグラフィックシステム図全体を高速にズーム/パン
- ズーム時にオブジェクトサイズを固定できる「フラグ」の追加
- 任意の HTML カスタムオブジェクトを組み込むための技法サンプル



SL-GMS Web/Developer 新 V4.0a で追加された
オーバービュー小窓 (左) とリンク (右) 新機能

- グラフィックオブジェクトやテーブルの行を色と点滅によって誘目性を高める「リンク機能」
- 「リンクオブジェクト」を作成するための API とノードとリンクをグラフィックにレイアウトするための技法サンプル など

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2022/sl_j_news_221004.shtml

☆「SL-GMS Web/Developer 新バージョン 4.0a ハイライト」デモビデオ (3分05秒):

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/sl_gms_demovideos.shtml?id=WD40a_highlight

Real-Time Visibility



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

年3回発行 2023年1月12日発行 通巻74号

- ◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- ◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。